

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日
東

上場会社名 GMOペパボ株式会社 上場取引所
 コード番号 3633 URL <https://pepabo.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 五十島啓人 (TEL) 03-5456-3021
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,523	8.2	△825	—	△746	—	△892	—
2022年12月期第2四半期	5,106	△14.2	248	△45.9	258	△45.1	182	△49.5

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △903百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 111百万円(△75.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△169.12	—
2022年12月期第2四半期	34.45	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	11,045	1,522	13.8
2022年12月期	11,435	2,689	23.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,522百万円 2022年12月期 2,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	50.00	50.00
2023年12月期	0.00	0.00			
2023年12月期(予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,894	3.5	△642	—	△576	—	△867	—	△164.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	5,468,700株	2022年12月期	5,468,700株
2023年12月期2Q	191,657株	2022年12月期	191,657株
2023年12月期2Q	5,277,043株	2022年12月期2Q	5,309,093株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料の入手方法

下記URLより、当社IRサイト内の決算説明会資料をご参照ください。

なお、8月9日(水)16時00分頃の掲載予定となります。

URL : <https://pdf.pepabo.com/presentation/20230809p.pdf>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「人類のアウトプットを増やす」というミッションのもと、表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。

当第2四半期連結累計期間は、レンタルサーバーサービス「ロリポップ!」やネットショップ作成サービス「カラーミーショップ」が価格改定の効果により堅調に推移しました。一方で、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」では低価格帯作品を中心に流通額が前年同期を下回りました。利益面では、金融支援事業の「FREENANCE」において、第1四半期連結会計期間で貸倒関連費用を1.8億円計上したことを受けて、管理体制を見直し5月以降は全面的に提携企業取引の高額な請求書買取を停止しました。第2四半期連結会計期間において、運送業・建設業を中心に複数の大口取引先の財政状態が悪化し、滞留債権金額が増加したため、滞留債権に対する貸倒引当金等の貸倒関連費用を10.9億円計上しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,523,924千円（前年同期比8.2%増）、営業損失825,856千円（前年同期における営業利益248,352千円）、経常損失746,855千円（前年同期における経常利益258,464千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失892,446千円（前年同期における親会社株主に帰属する四半期純利益182,881千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、ホームページ制作サービス「グレープ」をEC支援事業からホスティング事業へ区分変更しました。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。

「ロリポップ!」におきましては、「定額ホームページ制作プラン」などを展開したものの、低単価プランの解約が増加し、契約件数は417,710件（前年同期末比2.1%減）となりました。一方で、2023年2月に行った価格改定の効果や上位プランの契約比率が高まったことから、顧客単価は495円（前年同期比10.2%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、電気料金高騰や円安による仕入れ価格上昇の影響を受け、2023年2月よりドメインの新規取得や更新に際しサービス維持調整費を導入したことから顧客単価が増加しました。一方で、新規契約数が減少したことから、登録ドメイン数は1,125,732件（前年同期末比3.2%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は2,791,503千円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は902,033千円（前年同期比3.0%減）となりました。

② EC支援事業

EC支援事業には、月額制ネットショップ作成サービス国内店舗数No.1の「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、従来よりも大規模なネットショップ運営を支援するため、2023年1月より「プレミアムプラン」の提供を開始しています。また、ショップの商品情報をもとに、SNSで商品を宣伝するためのテキストを自動生成するカラーミーAIアシスタント(β)の提供を開始したほか、「GM0後払い」の月額利用料が最大6か月無料になるキャンペーンを実施しました。契約件数は、初期費用無料・月額利用料無料でネットショップを開設できるフリープランの利用が増加したことから50,337件（前年同期末比2.2%増）となりました。また、2022年4月に実施した価格改定の効果により、月額有料プランの顧客単価は5,213円（前年同期比35.4%増）となりました。

「SUZURI」におきましては、2023年6月にTシャツセールを行い、登録会員数は149万人（前年同期末比21.4%増）となりました。一方で、消費動向の変化による影響を受けた第1四半期の流通額を補うには至らず、当第2四半期連結累計期間における流通金額は12.7億円（前年同期比1.6%減）となりました。また、利益面は前連結会計年度に実施した、SUZURIのテレビCM等のプロモーション施策による費用が発生しなかったことから大幅に改善しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は1,522,241千円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益は391,481千円（前年同期比122.1%増）となりました。

③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」が属しております。

「minne」では、2023年4月よりデジタル作品や素材、作り方やノウハウを発信するレッスン動画など、ものづくりにまつわるデジタルコンテンツを登録し販売できるデジタルコンテンツの取り扱いを開始し、作家・ブランド数は88万人（前年同期末比5.7%増）となりました。一方で、低価格帯作品の流通規模縮小の影響を受け、当第2四半期連結累計期間における流通金額は70億円（前年同期比10.5%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は761,032千円（前年同期比11.4%減）、セグメント利益は41,903千円（前年同期比37.6%減）となりました。

④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しております。

「FREENANCE」におきましては、第1四半期連結会計期間で貸倒関連費用を1.8億円計上したことを受けて、管理体制を見直し5月以降は全面的に提携企業取引の高額な請求書買取を停止しました。第2四半期連結会計期間において、運送業・建設業を中心に複数の大口取引先の財政状態が悪化し、滞留債権金額が増加したため、滞留債権に対する貸倒引当金等の貸倒関連費用を10.9億円計上しました。損失拡大の影響を受け、当社の取締役が直接的に連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社の執行に関わり、ガバナンス体制を強化したほか、取引先の与信調査の強化や、買取額の制限設定などの管理体制強化を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は448,254千円（前年同期比104.0%増）、セグメント損失は1,172,481千円（前年同期におけるセグメント損失は15,388千円）となりました。

⑤ その他

その他には、習い事やチーム・教室運営における連絡や集金をクラウド上で一元管理できるサービス「GMOレンシュ」が属しております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は891千円（前年同期比18.6%増）、セグメント損失は19,749千円（前年同期におけるセグメント損失は20,771千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,045,237千円（前連結会計年度末比390,709千円減）となりました。これは、主に現金及び預金が321,670千円、関係会社預け金が250,000千円、有形固定資産が114,132千円及び前払費用が87,859千円増加した一方で、貸倒引当金が1,215,389千円増加したことによるものであります。

負債は9,523,193千円（同776,298千円増）となりました。主に短期借入金が700,000千円減少した一方で、契約負債が406,034千円、社債が800,000千円及び1年以内償還予定の社債が200,000千円増加したことによるものであります。

純資産は1,522,043千円（同1,167,008千円減）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失計上に伴い利益剰余金が892,446千円及び配当金の支払により利益剰余金が263,852千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月6日に公表した2023年12月期通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、2023年8月9日公表の「通期連結業績予想および配当予想の修正ならびに役員報酬の一部自主返上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,559,397	2,881,068
関係会社預け金	1,050,000	1,300,000
売掛金	2,593,241	2,393,262
商品	11,444	9,172
貯蔵品	3,671	2,962
未収入金	1,934,823	2,000,102
前払費用	1,317,101	1,404,960
その他	120,469	114,473
貸倒引当金	△278,672	△1,371,506
流動資産合計	9,311,478	8,734,497
固定資産		
有形固定資産	651,752	765,885
無形固定資産	734,258	801,567
投資その他の資産		
投資有価証券	643,374	629,835
その他	95,083	236,006
貸倒引当金	—	△122,555
投資その他の資産合計	738,457	743,286
固定資産合計	2,124,468	2,310,739
資産合計	11,435,946	11,045,237
負債の部		
流動負債		
営業未払金	248,698	327,905
未払金	2,107,806	1,868,646
短期借入金	1,200,000	500,000
1年内償還予定の社債	—	200,000
未払法人税等	84,212	167,548
契約負債	3,846,533	4,252,567
預り金	512,749	497,396
賞与引当金	59,484	25,692
その他	379,404	478,279
流動負債合計	8,438,890	8,318,037
固定負債		
社債	—	800,000
資産除去債務	26,790	29,959
その他	281,214	375,196
固定負債合計	308,004	1,205,156
負債合計	8,746,894	9,523,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,224	262,224
資本剰余金	256,699	256,699
利益剰余金	2,500,920	1,344,622
自己株式	△393,834	△393,834
株主資本合計	2,626,009	1,469,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,042	52,332
その他の包括利益累計額合計	63,042	52,332
純資産合計	2,689,052	1,522,043
負債純資産合計	11,435,946	11,045,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,106,845	5,523,924
売上原価	2,167,005	2,477,987
売上総利益	2,939,839	3,045,937
販売費及び一般管理費	2,691,487	3,871,794
営業利益又は営業損失(△)	248,352	△825,856
営業外収益		
受取利息	1,188	1,064
受取配当金	3,084	4,186
投資事業組合運用益	8,028	89,069
業務受託料	6,566	6,293
その他	5,076	13,851
営業外収益合計	23,944	114,466
営業外費用		
支払利息	1,159	6,370
投資事業組合運用損	4,647	9,384
持分法による投資損失	7,052	5,519
社債発行費	—	12,068
その他	973	2,121
営業外費用合計	13,833	35,464
経常利益又は経常損失(△)	258,464	△746,855
特別利益		
新株予約権戻入益	10,250	—
特別利益合計	10,250	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	268,714	△746,855
法人税、住民税及び事業税	44,328	150,242
法人税等調整額	58,397	△4,652
法人税等合計	102,725	145,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	165,988	△892,446
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,892	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	182,881	△892,446

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	165,988	△892,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,052	△10,710
その他の包括利益合計	△54,052	△10,710
四半期包括利益	111,936	△903,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,829	△903,156
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,892	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	268,714	△746,855
減価償却費	149,423	207,442
貸倒引当金の増減額(△は減少)	49,459	1,092,834
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,125	△33,792
投資事業組合運用損益(△は益)	△3,381	△79,685
持分法による投資損益(△は益)	7,052	5,519
受取利息及び受取配当金	△4,273	△5,251
支払利息	1,159	6,370
社債発行費	—	12,068
新株予約権戻入益	△10,250	—
売上債権の増減額(△は増加)	191,476	199,979
棚卸資産の増減額(△は増加)	△316	2,981
前払費用の増減額(△は増加)	△125,331	△87,859
未収入金の増減額(△は増加)	△643,663	△66,393
その他の流動資産の増減額(△は増加)	300	5,995
営業未払金の増減額(△は減少)	△8,697	68,751
未払金の増減額(△は減少)	△17,058	△259,059
契約負債の増減額(△は減少)	306,778	406,034
預り金の増減額(△は減少)	24,794	△15,352
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△33,875	86,157
その他	△4,050	3,739
小計	143,136	803,623
利息及び配当金の受取額	4,281	5,291
利息の支払額	△1,159	△4,720
法人税等の支払額	△136,650	△69,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,607	734,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,794	△28,344
無形固定資産の取得による支出	△153,477	△169,525
投資有価証券の取得による支出	△45,000	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△400	△1,500
投資事業組合からの分配による収入	11,754	94,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,918	△134,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△700,000
社債の発行による収入	—	987,931
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△23,691	△52,599
ストックオプションの行使による収入	17,644	—
自己株式の取得による支出	△79,912	—
配当金の支払額	△360,559	△263,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,518	△28,378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△474,829	571,670
現金及び現金同等物の期首残高	3,620,663	3,609,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,145,833	4,181,068

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
ロリポップ	1,126,865	—	—	—	1,126,865	—	1,126,865	—	1,126,865
ムームードメイン	1,092,440	—	—	—	1,092,440	—	1,092,440	—	1,092,440
カラーミーショップ	—	884,956	—	—	884,956	—	884,956	—	884,956
SUZURI	—	460,020	—	—	460,020	—	460,020	—	460,020
minne	—	—	859,043	—	859,043	—	859,043	—	859,043
FREENANCE	—	—	—	219,718	219,718	—	219,718	—	219,718
その他	443,860	19,188	—	—	463,048	751	463,799	—	463,799
顧客との契約から 生じる収益	2,663,166	1,364,165	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
外部顧客への売上高	2,663,166	1,364,165	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,663,166	1,364,165	859,043	219,718	5,106,094	751	5,106,845	—	5,106,845
セグメント利益 又は損失(△)	930,003	176,292	67,206	△15,388	1,158,113	△20,771	1,137,341	△888,989	248,352

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、GM0レンシュを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△888,989千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	計				
売上高									
ロリポップ	1,216,124	—	—	—	1,216,214	—	1,216,214	—	1,216,214
ムームードメイン	1,130,975	—	—	—	1,130,975	—	1,130,975	—	1,130,975
カラーミーショップ	—	1,048,624	—	—	1,048,624	—	1,048,624	—	1,048,624
SUZURI	—	465,007	—	—	465,007	—	465,007	—	465,007
minne	—	—	761,032	—	761,032	—	761,032	—	761,032
FREENANCE	—	—	—	448,254	448,254	—	448,254	—	448,254
その他	444,313	8,609	—	—	452,922	891	453,813	—	453,813
顧客との契約から 生じる収益	2,791,503	1,522,241	761,032	448,254	5,523,032	891	5,523,924	—	5,523,924
外部顧客への売上高	2,791,503	1,522,241	761,032	448,254	5,523,032	891	5,523,924	—	5,523,924
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,791,503	1,522,241	761,032	448,254	5,523,032	891	5,523,924	—	5,523,924
セグメント利益 又は損失(△)	902,033	391,481	41,903	△1,172,481	162,936	△19,749	143,187	△969,044	△825,856

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、GM0レンシュを含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△969,044千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間期首の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「EC支援事業」に属していたグーペを「ホスティング事業」に区分変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。